



あしよろ

No.214

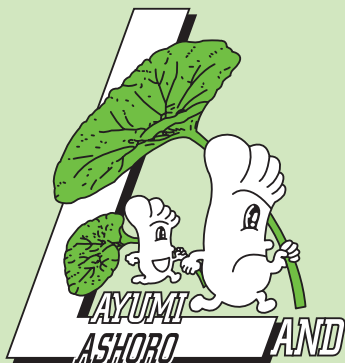
議会だより

2023.8

北海道足寄郡
足寄町議会発行



足寄消防団防火PR（螺湾保育所）7月26日



予算・条例等の審議内容 など 2～4ページ

一般質問（5議員が登壇） 5～9ページ

議会の動き など 10ページ

第2回 定例会

第2回定例会は6月6日から22日までの17日間の日程で開催し（7、18日は休会）、初日は、議長の諸般の報告の後、町長からの行政報告を受けました。次に、町長、教育長から行政執行方針について報告を受けました。その後、報告4件、工事契約1件、条例改正4件、その他2件の議案を審議（関連記事2～3頁）し、原案どおり可決、条例制定1件、条例改正1件、意見書案1件は所管の常任委員会に付託し、会期中の審査としました。

19日は、6日に委員会付託とした条例制定と条例改正についての審査報告を受け、可決した後、一般質問（関連記事5～9頁）を行いました。

20日は、前日に引き続き一般質問を行いました。

21日は、町長から7会計の令和5年度補正予算の提案説明を受け、即決で審議し、原案どおり可決しました。その後、追加日程で、工事契約1件、補正予算1件、意見書案1件、研修会への議員派遣、4委員会からの閉会中継続調査申出を原案どおり可決、承認し、会期を1日残して閉会しました。

報告

◆繰越明許費繰越計算書

令和4年度一般会計予算で介護サービス事業助成事業など6事業4063万9千円を翌年度へ繰り越すもの。

また、令和4年度公共下水道事業特別会計予算で1400万円、令和4年度介護サービス事業特別会計予算で1760万円を翌年度へ繰り越すもの。

◆事故繰越し繰越計算書

令和4年度一般会計予算で地域活性化推進事業など、年度内の完了が困難となり2事業を翌年度へ繰り越すもの。

条例審議

◆足寄町企業版ふるさと納税基金条例の制定について

・企業からのふるさと納税を積み立てる基金を設置するもの。

に関する条例の一部を改正する条例

・医療費の助成対象を高校生まで拡大するもの。

◆足寄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・保険税の税率等を改正するもの。

◆足寄町新規就農者等誘致促進条例の一部を改正する条例

・営農指導交付金の額と期間を改正するもの。

予算審議

◆足寄町税条例の一部を改正する条例

令和5年度一般会計など7会計8本の補正予算は、6月21日に即決で審議し、原案どおり可決しました。

◆足寄町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

賦課期日前後の設備投資に対する課税免除期間の特例措置を講ずるもの。

◆乳幼児及び児童医療費助成

・賦課期日前後の設備投資に対する課税免除期間の特例措置を講ずるもの。

4000万円
（川上議員質疑あり）

・（仮称）やっばり十勝DA Y足寄実行委員会補助金
19万8千円
（進藤議員質疑あり）

・木質ペレットストーブ導入補助金
120万円
（井脇議員・榊原議員質疑あり）

・価格高騰重点支援給付金
3300万円

・医療費助成システム改修業務
237万6千円

・新規就農者育成総合対策経営開始資金
262万5千円

・耕畜連携地力増進（堆肥利用）事業補助金
670万円
（川上議員質疑あり）

・コロナ対策農業経営継続支援補助金
4497万円
（進藤議員・二川議員質疑あり）

・足寄町家畜伝染病自衛防疫対策協議会負担金
274万9千円

・環境保全型農業直接支払交付金
218万4千円

・森林環境推進事業補助金
604万3千円

◆一般会計補正予算（第2号）

・車両センター職員休憩所新築工事
1410万5千円

・（二川議員・進藤議員質疑あり）

・住環境・店舗等整備補助金

604万3千円

- ・足寄町商工会補助金 300万円
- ・小規模事業振興補助金 400万円

- ・足寄町創業及び持続化支援金 400万円
- ・頑張ろう足寄プレミアム付商品券発行事業補助金 1490万円

(川上議員質疑あり)

- ・雌阿寒温泉公衆トイレ浄化槽改修工事 3056万9千円

- ・観光物産プロモーション事業補助金 285万円

(二川議員質疑あり)

- ・町道舗装補修工事 3873万1千円
- ・南7丁目通整備工事ほか2件 4508万9千円
- ・町道整備工事に伴う配水管移設工事負担金 751万6千円

普通河川補修工事

- ・消防庁舎外壁改修工事 261万8千円

- ・消防団詰所屋根塗装工事 3839万4千円

- ・防災ガイドマップ作成業務 211万3千円

- ・足寄小学校教員住宅改修工事 260万7千円
- ・足寄小学校教員住宅改修工事 520万円

- ・螺湾小学校教員住宅改修工事 259万4千円

◆介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

- ・介護サービス施設新築工事実施設計業務 5500万円

(進藤議員・川上議員質疑あり)

◆上水道事業会計補正予算(第1号)

- ・道路改良工事に伴う配水管移設拡張工事 1268万3千円

◆一般会計補正予算(第3号)

- ・堆肥舎劣化調査業務 448万4千円

契約

◆芽登小学校外部改修(建築主体)工事請負契約について

- ・契約の方法…指名競争入札
- ・契約金額…8822万円
- ・工事期日…令和5年11月17日
- ・契約の相手方…足寄町西町

- ・8丁目1番地の12株式会社 外田組

◆里見が丘公園整備(幹線園路3)工事請負契約について

- ・契約の方法…指名競争入札
- ・契約金額…5038万円
- ・工事期日…令和5年11月30日
- ・契約の相手方…足寄町西町7丁目3番地の8

道東建設工業株式会社

意見書

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

- 提出者 高橋健一議員
- 賛成者 田利正文議員

その他

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

- ・大誉地辺地、茂足寄辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するもの。

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について

- ・螺湾辺地、芽登辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部を変更するもの。

◆議員派遣の件

- ・北海道町村議会議員研修会 7月4日～5日 札幌市議員13名
- ・北海道町村議会議長会新任議員研修会 7月25日 釧路市議員2名
- ・北海道町村議会議長会広報研修会 8月16日～17日 札幌市議員5名

賛否出席状況等

足寄町議会総合条例の規定に基づき、第2回定例会における議員の出席状況及び議案等に対する議員個々の採決態度を公表します。

第2回定例会は、欠席、遅参、早退する議員はいませんでした。

また、提案された個々の議案について、賛否が分かれたものについては下記のとおりです。

議決結果(賛否等が分かれた議案)

賛成=○ 反対=●

議案名	早瀬川 恵	井脇 昌美	榊原 深雪	矢野 利恵子	田利 正文	高橋 健一	木村 明雄	細川 勉	川上 修一	進藤 晴子	多治見 亮一	二川 靖	高橋 秀樹	議決結果
第2回定例会 議案第49号 足寄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	議長※	原案可決

その他の議案は全議員賛成で原案どおり可決、承認、採択しています。

※ 高橋秀樹議員は議長職のため、表決権はありません。

吉田敏男前議長が 特別自治功勞で 表彰



北海道町村議会議長会定期総会が6月15日、札幌市で開催され、吉田敏男前議長が特別自治功勞表彰を受けました。

この表彰は、議員25年以上在職並びに道議長会役員を経験し議員を辞された方が対象者とされています。

受賞者を代表して、道議長会副会長を務めた吉田敏男前議長が表彰状を受け取りました。

足寄中学校2年生の総合的な学習に 議員5名が講師として参加しました

6月28日にネイパル足寄で行われた足寄中学校2年生の「総合的な学習の時間」の授業に、議員5名が講師として参加しました。

これは、同校で行われている「未来につなげるプロジェクト」と題される総合的な学習の一環として、ふるさと足寄の良さや課題を知り、より住みやすい町にするために、自らできることを様々な視点で考えることを目的に行われたものです。

当日は、同校の2年生51名が5グループに分かれて各議員とグループワークを行い、



足寄町の現状、議員から見た足寄の良さや課題、取り組んでいることなどについて講師の議員が話した後、生徒からの質問に答えました。

生徒からの「太陽光発電は問題があるのではないか」との質問には、全国的に景観や環境破壊といった問題が起きていること、本町の「ゼロカーボン宣言」について触れ、「地球温暖化に対する取り組みはあなたの方の未来社会に対する責任」と話しました。

2氏の講演に研さん積む

北海道町村議会議長会主催による議員研修会が札幌コンベンションセンターにて7月4日に開催され、全国各地の町村議会議員が集まる中、本町議会も8名の議員が参加しました。

研修会では、元防衛大学校長でひょうご震災記念21世紀研究機構理事長の五百旗頭真氏より「ウクライナ危機後の世界と日本」、政治ジャーナリストの田崎史郎氏より「日本政治の舞台裏」と題しての講演がありました。各議員は熱心に聞き入っていました。



左から講師の田崎氏と五百旗頭氏

お詫びと訂正

議会だより臨時号の3ページにおいて、記載に誤りがありました。

1段目

(誤) 委員 多治見亮一

(正) 委員長 多治見亮一

ここに訂正し、お詫び申し上げます。

一般質問 5 議員が登壇

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります

国民健康保険の子どもの均等割独自軽減を



田利正文 議員

田利議員 国民健康保険税は、収入に関係なく各世帯にかかると、家族の数に応じてかかる均等割が重い負担となっている。0歳の赤ちゃんにも保険税がかかる均等割は子育て支援に逆行するものである。

町長 町村独自で行う均等割減免の法定外繰入は「解消すべき赤字」とされており、国の基準を超えて独自に保険税軽減を条例で定めることは適切ではなく、独自で軽減する

場合は基金から補填することになるが、国保財政は赤字であり、基金を取り崩しつつ予算編成を行っている状況。

本来、子どもの窓口負担軽減や国保税の減免は国が対応すべきものと考えており、現時点で独自軽減する考えはない。

田利議員 給与所得者で比較可能なモデルケースを出して試算した場合、国保税と職員が加入している共済組合の保険料は、どのくらいになるか。

※後日提出の資料より
年収400万円程度、扶養者3人(妻、子2人)で、
国保税47万7200円、共済組合24万3565円。

田利議員 本町の均等割額は、
住民課長 2万6900円。

田利議員 未就学児から18歳まで、独自軽減する場合の対象者数と金額は。

住民課長 未就学児は67人、92万9810円。小学生から高校生までは165人、44万4930円の見込み。

田利議員 国保の都道府県化に向けての議論の中で、加入者の所得が低い国保が、他の医療保険より保険料が高く、負担が限界になっているのは、国保の構造問題、たという意見が出されている。全国知事会が国保税を他の医療保険の保険料並みに引き下げするために1兆円の公費負担が必要と言っている。町長はこの件についてどのように考えているか。

町長 全道で国保税を統一していくということになると、足寄町として、大変申し訳ないがまた引き上げが必要になってくると考えている。

田利議員 町長自身は国保の構造問題という認識はあるか。

町長 低所得者の方々が増えてきていることで、昔と比べると構成は随分変わってきている部分もあるのかなと思っている。今は、年金生活者と

農業者と保険の負担が二極化されてきており、さらに進んでいく可能性があると思う。

国保税で医療費を全部賄っていく、基本的には加入されている方々の中で賄っていく形になっているが、これだけで本当に済むのかなという部分は考えられる。現状では、国保税を少しづつ上げていかなければならないと思っている。今、北海道で一元化する形で進んで行く中で、もう少し国の支援だとか、そういったものももっと入ってこないかと、国保会計の独立性が保たれないのではと感じている。

生理の貧困 対策について

校の女子トイレ個室に生理用品を配置することを求める。
また、養護教諭らに生理をはじめ心や体の悩みをいつでも相談できる環境をつくる必要があると考えるが、現状と今後の取り組みについて伺う。

教育長 経済的理由で生理用品の購入ができないという相談は、現時点では耳にしないがないが、生理の貧困問題を抱えている世帯が潜在する可能性も否めないと考えており、各小中学校と協議の上、保健室における相談機能を重視しつつ、まずは足寄中学校で試験的に女子トイレに配置し、その状況等を分析し、今後の対応を検討していく。

田利議員 雇用状況の悪化や、非正規雇用が多い女性の貧困が問題となっている。こうした家庭状況の中、毎月の生活必需品である生理用品を購入することができずに、交換の回数を減らしたり、トイレ紙トーパーを代用するなどの実態もあると聞く。とりわけ、声を上げにくい児童・生徒が、安心して通学できるよう、学

養護教諭への相談体制については、保健だよりや校内への案内等による周知のほか、保健体育などの授業において生理が起こる仕組みや原因についての理解を深めるとともに、養護教諭をはじめとする教職員に対し、気軽に相談できる場を提供することが重要。引き続き、相談しやすい環境の整備に努め、全ての子どもたちが安全に、安心して学校に通える環境を整えていく。

足寄の人口を 増やすために



矢野利恵子 議員

町民の命を守る。

⑤子や孫を足寄に呼び戻すために、足寄町の仕事を優先的に用意すると同時に、公設結婚相談所をつくり、積極的に家族数増を推進していく。

町長 1点目について、現時点において再生可能エネルギー発電設備を建設することは考えていない。建設された場合でも多額の建設費やコストを要するため、発電された電力が無料とはならない。

矢野議員 4年前に約6800人いた足寄の人口は、現在6200人台になっている。人口を増やすために、次のことをしている。

①農畜産廃棄物や水力、地熱、木材等を利用した地産地消の町民が無料で使える電力をこし、再生可能エネルギー発電の町を目指す。

②ユーザーや新規事業を起こす人に補助金を出して、足寄で生活できるように援助し人口を増やす。

③廃業する町内事業を続けるため、後継者探しや資金の支援をする。

④町内医療施設に、造影剤を注射せず被曝もしない、がん発見の最先端機械ドゥイブスを導入し、早期発見で私たち

れる。

3点目について、小規模事業者等の円滑な事業承継を支援することを目的として「事業承継サポートネットワーク」が構築されている。これには十勝地区で市町村や商工団体、金融機関等32機関が参画しており、事業承継の問い合わせがあった場合には、商工会とも連携の上、専門家の派遣や国の事業承継に係る補助制度などの支援を行う。



本人医師によって開発されたもの。この検査は、高性能MRIによる新しいがん検査法であることから、機器の導入費用も非常に高額なものとなっている。

ドゥイブスは、被曝の心配がなく、有効ながん検査法の一つであると認識しているが、がんの部位や大きさによっては他の検査方法が優位の場合もあると聞いていることや、費用の面からも導入は考えていない。

5点目について、足寄町に仕事を用意できたとしても、雇用する側が求める人材でなければ就業に結びつくことは困難。優先的に仕事を用意することにしても、雇用の機会は移住者に限らず均等であるべきと考える。

4点目について、ドゥイブスは「背景抑制広範囲拡散強調画像」と呼ばれるMRIを用いて全身のがんを診断する検査方法で、2004年に日

事業について、年内をめどに町や関係団体等と地元企業が連携協定を締結すべく準備を進めているほか、農業委員会では、農業後継者パートナー対策事業により、婚活イベント等の取り組みを行っていることから、結婚相談所を開設する考えはない。

矢野議員 やる気はないと言われたらそれまでなのだが、それでは足寄町独自として、人口を増やすために一体どんなことを考えているのか聞きたい。

町長 奇をてらって、ほかでやってないことをやれば人口は増えるかというところ、決してそうではない。足寄町もこれまでに総合戦略とか、人口減少対策でいろいろ取り組みをしてきている。子育て支援もその一つ。日本全体として人口がどんどん減ってきているという、この実態は間違いない話。その中で足寄町だけが人口が増えるということにはなかなかならない。

足寄町の基幹産業は農業、林業であるから、農業、林業を取り巻く部分の仕事を増やしていくことが大事である。

公衆トイレの維持管理について



神原 深雪 議員

神原議員 公衆トイレはま

ちの印象を残すものであり、きれいなトイレは使用する人の心を豊かにするものと考えますが、次のことについて伺う。

①町内の公衆トイレには、公園に設置されたもの、観光施設に設置されたもの、墓地など町の管理施設に設置されたものがあるが、当町には何か所の公衆トイレがあるか。
②維持管理及び清掃については、どのようにされているか。
③新しいトイレができたことにより、不要となったトイレの撤去についてはどのようにお考えか。

町長 1点目について、公園関係等で22か所、銀河ホールに1か所、オンネット地区に1か所、足寄霊園に1か所、大誉地・上利別・芽登の各本町に1か所の、合計28か所設

置されている。

2点目について、開設期間や設置場所ごとに委託内容や見回りの頻度は異なるが、定期的な清掃やトイレトパーの補充等のほか、一部の施設では周辺の除雪を業者等に委託している。

3点目について、平成25年度に里見が丘公園運動区内にあった3か所のトイレを集約する形で、野球場隣接地に建て替えをした際に、1か所は解体し、ほかの2か所は一部改修を行い、倉庫として活用を図っているものと、災害用のくみ取りトイレとして活用しているものがある。

本年度、老朽化や利用実態等を考慮し、北星公園と山手通公園のトイレを常設型から簡易型に変更したが、北星公園トイレについては多額の一般財源を要することから、当面、出入口を閉鎖して、財源確保の見通しが立った時点で撤去を進めたいと考えている。山手通公園トイレについては、本年度の遊具等整備工事にあ

わせて撤去する予定。

神原議員 公園に付随しているトイレについては、水洗化されており、清掃も行き届ききれない状態にある。水洗化できない公園には、簡易水洗移動式トイレが設置され、衛生的な住民サービスが提供されていた。墓地にあるトイレについては水洗化できない場所にあるためか、くみ取り式であり、定期的な清掃もなく、汚れたままになっていった。使用されるのがお盆やお彼岸などの限られた時期でもあり、簡易水洗移動式トイレの設置としてはどうか。

副町長 現在、墓地のトイレについての計画はないが、今回のご指摘から改めて見直しをさせていただきたいと思う。

神原議員 公衆トイレについては、地域住民の方との連携が欠かせないものであるが、地域住民の方の意向をどのように聞き取りされているか。

副町長 大誉地、上利別、芽登等はその自治会の方とお話をさせていただき、公園については廃止する場合に地域の方とご相談をさせていただく。
神原議員 三笠通りの町営駐

車場にあるトイレが、灯油の臭いがし、扉も錆びていることについては。

副町長 数年前に近隣から灯油が漏れてトイレの方に流れ込んできたのが原因で、可能な限り灯油の臭いが無くなる対応をしたが、地下にも染み込んでいたため、抜本的な解消は難しい状況になっている。

神原議員 里見が丘のメロディー橋近くにある公園トイレは使用できないように板で塞いでいるが、廃屋は有害鳥獣のすみかになる心配がある。衛生上と防犯上の問題から古いものは速やかに撤去すべきでは。

町長 例えば、何かをそこで建てるといふときに併せて撤去すれば、解体費用の補助や起債がついたりということもあるのですが、財源が見いだせないかということも考えている。

神原議員 湯の滝駐車場にあるバイオートトイレは現在どのような状況なのか。さらに、駐車場から奥にある湯の滝のそばにあるくみ取り式トイレはどのような状況なのか。

経済課長 バイオートトイレは町の所有ではなく森林管理署の所有。現在は閉鎖しており使

われてはいない。湯の滝にあるトイレも森林管理署の所有で、これは使える状態になっている。

神原議員 トイレを利用しようとした人が、目の前にあるトイレが使えない場合は、ここからどれぐらいの距離に別なトイレがありますぐらいは、日本語と英語で表示して、使う方に不便がないようにしてあげるのが町の役割ではないかなと思うが。

経済課長 バイオートトイレから少しの所に新休憩舎ができていますので、看板を設置することについて、所有者である森林管理署と協議する。

神原議員 湯の滝の駐車場に来た人には、町のものか森林管理署のものかは分からず、随分不便なところだなと正直な感想を持つと思う。改善に向けて協議していただきたい。

町長 せっかく来ていただいた方が使おうと思ったときに、使えないというようなことがないように、十分注意しながら管理に努めていきたい。

町長の行政執行方針について



木村明雄 議員

木村議員 今年の統一地方選挙において、渡辺町長は2期目の当選になり、町政を担うわけだが、この3、4年の間に全世界の情勢が大きく変わった。円安ドル高、新型コロナウイルス感染症、ロシア・ウクライナ戦争、それらに伴い、地方を取り巻く諸情勢は非常に厳しい状況下に置かれた。

町長の令和5年度行政執行方針について、いくつか質問する。

ふるさと足寄応援寄附推進事業について、令和4年度はチーズ製造販売中止等もあり、収入前年度比34%減とあるが、わが町の人気商品だけに、今後の見通しはどのようなのか。

町長 令和4年度の寄付額は5594万円、件数は2363件。前年度の寄付額は85

19万4千円、件数は3906件で、前年比、寄付額約2900万円、件数1543件の減となった。大幅に減少したのは、返礼品人気ランキング上位を占めるチーズを製造していた足寄町農業協同組合が昨年末に操業を停止し、事業を継承した合同会社「あしよるチーズ工房」による製造販売の再開までに時間を要したことが大きな要因と考えている。

木村議員 チーズは一番の人気商品だということは聞いているが、そのほかにどのような人気商品があるのか。

総務課長 チーズのほかに、トウモロコシ、ありがとう牧場の放牧ソフトアイス、そのほかにはジャガイモなどの農産物が人気となっている。

木村議員 新エネルギー利用の推進について、具体的にどのような取り組みをされるのか。

町長 昨年10月に「足寄町再生可能エネルギー導入計画」を策定したが、現状では特に

具体的な取り組みには至っていない状況。今後、公共施設等における温室効果ガス排出量の削減などについて定める「足寄町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」と、一般事業者や一般家庭を含めた足寄町全体の総合的な計画である「足寄町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定する中で、具体的な取り組みについて検討する予定。

木村議員 これについては将来に向け大きな課題案件と考える。再生可能エネルギーは、絶えず資源が補充され枯渇することのないエネルギーと言われ、この再生可能エネルギーのうち、技術的に実用段階であるが経済的な理由から普及が十分でないもので、利用促進を図るべきものを新エネルギーと言おう。新エネルギーには、バイオマス熱利用、バイオマス発電、バイオマス燃料

製造、太陽光発電、太陽熱利用、水力発電、風力発電、地熱発電等があるが、現在オイル又は電気料金が大幅に高騰している中で、今後避けては通れない事業案件と考える。そこで、足寄町に適した新工

ネルギーはどのようなものが考えられるのか。

経済課長 天候が良いということもあり、まずは太陽光発電。それ以外に小水力発電、木質バイオマス発電、地熱発電についても可能性があると考える。風力については、過去の調査の結果、あまり適地ではないとのことだった。

木村議員 町営温泉浴場について、現在、客の入込状況はどうか。

お風呂の無いむすびれっじを利用していただきた方々の問題は解消されたものと考えているが、入浴者数等の現状についてはどうか。

町長 4月にオープンし5月末時点での利用者数は、町内の方が5557人、町外からは719人、累計6276人となっており、当初想定していた利用者数の1.5倍となっている。

木村議員 利用した方々に感想を聞いたところ、最初は熱くて入れないくらいだったと思うのだが、最近は極端にぬるくて入った気がしないと聞く。温泉水の温度を何度に設定しているのか、また何度か適温

と考えているのか。

町長 いま現在、何度に設定しているか分からないが、一般的な入浴施設や自分の家だとかで考えると、大体40度くらいをめどに設定しているのではないかと。私も何人かの方から「少し温度が低いのでは」、「換気扇が強く寒い」という声も聞いている。指定管理者と相談し、十分検討しながら、利用者の声なども含めて運営できる形にしていく。

住民課長 オープンして2か月が経過したが、当初準備期間も少なかったことから温度の調整にてこずっていたところもある。指定管理者と協議の上、改善していく。

木村議員 皆さんが待ちに待った温泉である。入浴する人の身になり、納得のいく形で進んでいってほしい。



電気料金・物価高騰に対しての 対策と足寄町財政の見通し



進藤 晴子 議員

進藤議員 公共施設の電気料高騰の見通しと対策は。

町長 コミュニティ施設管理費（電気料金）では、令和元年度の決算額438万5千円、令和5年度の予算額706万2千円で、61%の増。令和5年度予算の補正見込みは、135万4千円の増額となる。
病院事務長 令和元年度決算で2053万40円。今年度予算が約3739万2千円。182%の予算計上をしている。
教育次長 小学校4校、令和元年度の決算772万3千円、令和5年度当初予算が1207万8千円で、約1.5倍程度。足寄中学校は、令和元年度決算1847万4607円、令和5年度当初予算が3190万5千円で、約1.7倍程度。温水プールは、令和元年

進藤議員 基本設計を委託中の特別養護老人ホームは。
福祉課長 省エネ対応の設計を提案しているが、まだ検討中。

進藤議員 公営住宅入居者の現状と対策は。

町長 オール電化住宅の戸数は、公営住宅71棟389戸のうち北団地の52戸。その割合は13.4%。入居者から電気料についての不満や要望等はないが、今後、家庭でできる節電の取り組みを周知したい。

進藤議員 オール電化公営住宅入居者の公共料金の金額は。
総務課長 個人払いのため把握はしていないが、相当な額と認識している。

進藤議員 入居希望時に公共料金の概算を伝えているか。
総務課長 現在は伝えていない。今後、オール電化住宅入居者に質問等を行い、概算を把握した上で説明をしていきたい。

進藤議員 低所得者や生活困窮者の現状と支援策は。
町長 住民税非課税世帯数とその割合は、令和5年度1063世帯であり、住民基本台帳世帯数3358世帯の31.7%を占める。生活保護受給

者数の推移は横ばいで、令和5年3月は73世帯86人。今年度は、新型コロナウイルス対応交付金を活用し、非課税世帯1世帯当たり3万円を支給することとし、関連予算を本定例会に提案した。

進藤議員 非課税世帯のうち高齢者の割合は。

福祉課長 令和4年6月で、非課税世帯1081、そのうち65歳以上のみの世帯が870。

進藤議員 再度、水道料金の補助を行う予定は。

町長 今後の選択肢の一つ。

進藤議員 中小企業支援対策を立案するに当たり、事業者の経営状況等をどのように把握しているのか。また、具体的支援策は。

町長 商工会、観光協会、町内金融機関と町で構成の金融担当者会議を定期的に開催し、必要な情報収集と情報共有を行っている。

本定例会にも小規模事業振興補助金や足寄町商工会補助金、頑張ろう足寄プレミアム付商品券発行事業補助金等に係る予算を提案している。

進藤議員 太陽光発電と蓄電池を推し進める考えは。

町長 今後のゼロカーボンの取り組みの中での一つの選択肢。ただ、蓄電池の性能がまだいまひとつと聞いている。

進藤議員 実質無利子無担保融資、いわゆる「ゼロゼロ融資」の返済開始ピークが来るが、融資の借り換えは何件あるか。

経済課長 相談は13件。現在借り換え手続き中は2件。

進藤議員 保証料を補助する考えは。

町長 金額が大きいこともあり、検討中。

進藤議員 町財政の見通しは。

町長 財源については、地方債を充てる事業を行う場合、交付税補填率の高い過疎対策事業債や辺地対策事業債など厳選して発行。今回補正後の財政調整基金残高は約14億7千万円を見込んでいる。

本町の財政は、財政指標によれば比較的健全な状況だが、今後の予測は大変困難。とはいえ、財政状況を見ながら必要な所に必要なお金を出していくことが私の役目。今後も厳しい視点での財政運営と産業の振興を図り、収入の確保に努めていく。



議会の動き

〈5月〉

10日 第2回臨時会・議会運営委員会
総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会
広報広聴常任委員会

25日 十勝町村議会議長会定例会
十勝圏活性化推進期成会委員会（帯広市）

〈6月〉

5日 議会運営委員会
6日 第2回定例会・総務産業常任委員会
文教厚生常任委員会
9日 議会運営委員会
15日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
19日 第2回定例会・議会運営委員会
20日 第2回定例会・議会運営委員会
21日 第2回定例会・議会運営委員会
29日 とかち広域消防事務組合臨時会
十勝圏複合事務組合臨時会
十勝圏活性化推進期成会定期総会（帯広市）

〈7月〉

4日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
14日 文教厚生常任委員会
19日 総務産業常任委員会
25日 北海道町村議会議長会新任議員研修会（釧路市）

閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

総務産業常任委員会

①農作物の生育・作況状況について

文教厚生常任委員会

①高齢者の健康寿命の延伸について
②所管施設の現状と課題について

広報広聴常任委員会

①議会広報紙の編集及び発行に関する事項
②議会広報・広聴の実施に関する事項
③議会広報・広聴の調査及び研究に関する事項
④足寄町議会ホームページによる広報に関すること
⑤足寄町議会の放映による広報に関すること

議会運営委員会

①議会運営について
②議長の諮問に関する事項について

第3回定例会の日程

第3回定例会は9月5日開会
一般質問は13日からの予定です



足寄町議会中継のお知らせ

足寄町議会は、YouTube（ユーチューブ）でのライブ中継を行っています。過去の動画も見ることができますので、一般質問や議案審議の様子などを詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。
インターネットで「足寄町議会 ユーチューブ」を検索するか、足寄町ホームページの足寄町議会の画面から接続することができます。

猛暑の毎日が続きますが、足寄町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、里見が丘公園の巨大遊具ふわふわドームでは沢山の子どもたちの楽しそうな声が聞こえていました。夏の暑さにも負けず自由にジャンプしている姿に元気とパワーをもらいました。一日たっぷり遊べるファミリィにもオススメな公園、疲れたら隣接されている足湯に入って休む事もできます。

コロナも先の見通しづらい状況ではありますが、時々、身体も心もリフレッシュさせたいですね。

足寄町の自慢の里見が丘公園、遊具が充実しているだけではなく、公園自体が広いので混雑を気にせずのびのびと遊べます。この機会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

立秋とは名ばかりの暑い日が続いております。熱中症にお気をつけて、どうぞお健康やお暮らしくださいませ。

（早瀬川副委員長記）

